

取扱説明書(保管用)

- このたびは、感震センサーユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を招く可能性が想定される場合。

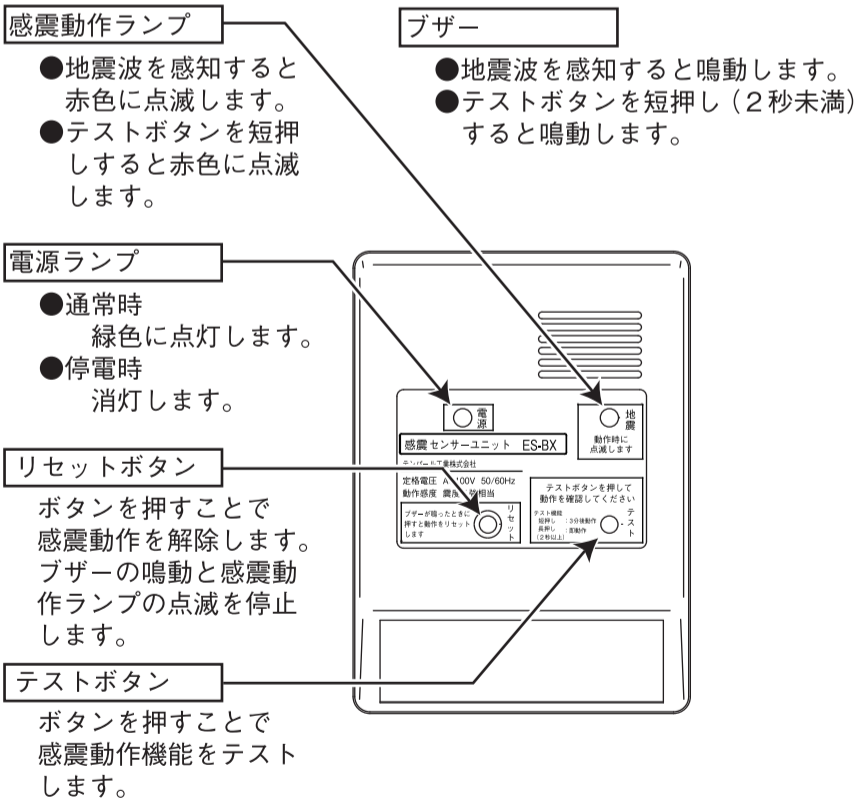
注意：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷害を招く可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告

- カバーを開けた場合、テストボタンとリセットボタン以外は触らないでください。端子カバーの下に指を入れる、ヒューズを外すなどをすると、感電のおそれがあります。

各部の機能



注意



厳守

- 電気工事は、有資格者（電気工事士）がおこなってください。
- 主幹漏電ブレーカが自動的に遮断した場合は、電気機器などの安全を確認してから主幹漏電ブレーカのハンドルを入「I」にしてください。安全が確認できていない場合、電気ストーブ、観賞魚用ヒータ、白熱電球などの過熱による火災のおそれがあります。また、地震のために傷んだ電気機器類の電源線や配線器具による火災のおそれがあります。
- 結露や氷結しないようにしてください。結露や氷結は誤動作による停電の原因となります。
- 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動衝撃など異常な環境で使用しないでください。感電、火災のおそれや、正常に動作しないおそれがあります。
- ラジオ・テレビ・受信機など磁気が発生するものを感震センサーユニットの近くに設置しないでください。正常に動作しないおそれがあります。また、違法電波を受けると誤動作による停電の原因となります。

使用上のご注意

- 本商品は、震度5強相当の揺れを感知しますが、地震の揺れ方や建物の構造などによっては感知しない場合があります。また、震度5強未満の地震であっても、建物の構造などによっては感知する場合があります。
- 本商品が感震動作やテスト動作などするとブレーカが遮断し停電しますが、本商品の正常動作によるいかなる損害やトラブルの責任は一切負いかねますので予めご了承ください。
- テストボタンを押して主幹漏電ブレーカの動作を定期的を確認することをお奨めします。

更新推奨時期について

本商品の更新時期は、(一社)日本配線システム工業会発行「JWD-T22 感震機能付住宅用分電盤 ガイドライン」に準じ、13年を推奨します。更新推奨時期は寿命を表すものではありません。

仕様

型式名	ES-BX
適用主幹ブレーカ	漏電ブレーカ 高速型 感度 30mA以下
定格電圧	AC100V 50/60Hz
使用周囲温度	-10~40℃ (結露・氷結のないこと)
動作感度	震度5強相当 ●250gal 周期 0.3s、0.5s、0.7s にて動作 ●80gal 周期 0.3s、0.5s、0.7s および 250gal 周期 0.1s にて不動作
感震動作機能	地震波を感知すると約3分後に漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。
地震波感知記憶機能	地震波感知から漏電ブレーカへの遮断信号出力までの3分間に停電が発生すると、地震波感知を記憶して、復電時すぐに漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。
停電補償機能	停電後8秒以内に地震波を感知すると、復電時、すぐに漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。
ブザー	地震波感知時 : 鳴動 テストボタン短押し時(2秒未満): 鳴動
感震動作ランプ	地震波感知時 : 赤点滅 テストボタン短押し時(2秒未満): 赤点滅
外部警報接点	ブザーが鳴動、感震動作ランプが点滅する間、外部警報接点が動作します。 ●最大 AC125V 0.5A、DC24V 1.0A ●最大配線長 20m

商品および説明書の内容についてご不明な点がございましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。

テンパール工業株式会社
広島市南区大州三丁目1番42号
http://www.tempearl.co.jp/

【技術問い合わせ窓口】

TEL(082)287-9110 FAX(082)283-4534

受付時間 9:00~17:30

[月曜日~金曜日(祝・祭日、弊社休業日を除く)]

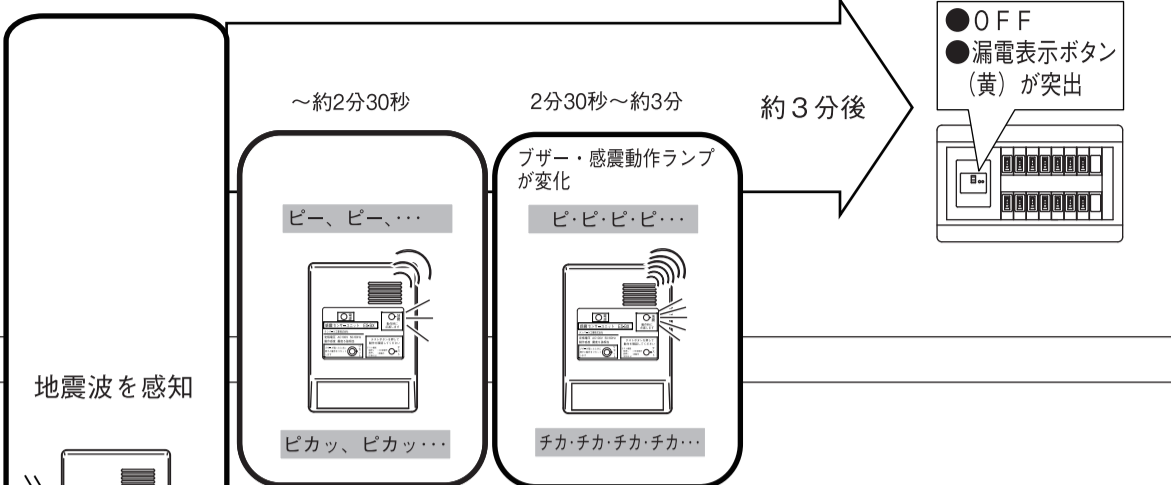
施工電気工事者名

TEL ()

施工年月日 年 月 日

①感震動作機能

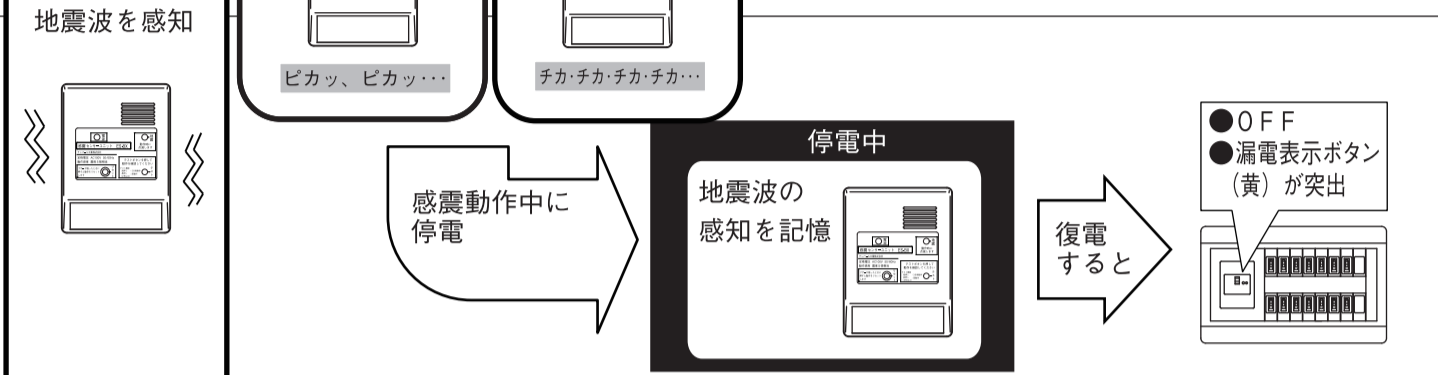
地震波を感知すると約3分後に漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。



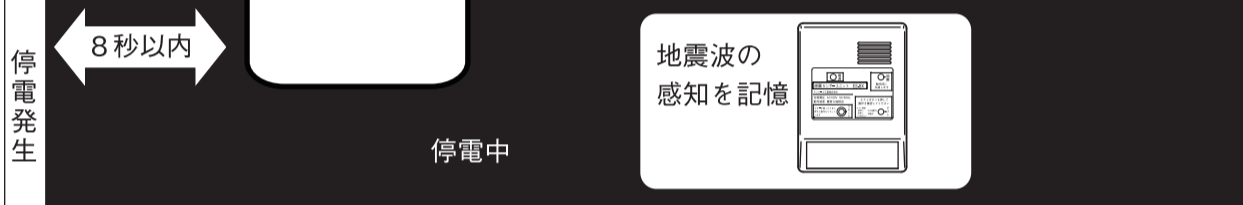
※主幹漏電ブレーカが遮断する前にリセットボタンを押すと感震動作を解除できます。

②地震波感知記憶機能

地震波感知から漏電ブレーカへの遮断信号出力までの3分間に停電が発生すると、地震波感知を記憶して、復電時すぐに漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。



③停電補償機能



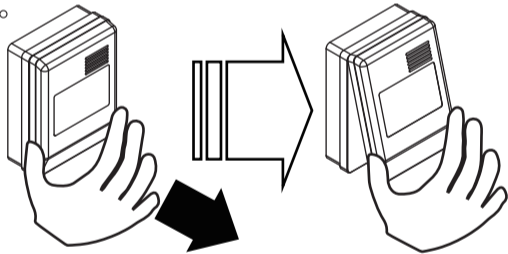
停電後8秒以内に地震波を感知すると、復電時、すぐに漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。

テスト機能について

感震動作機能のうち、主幹漏電ブレーカへ遮断信号を出力する動作を確認できます。テストボタンを押して主幹漏電ブレーカの動作を定期的に確認することをお奨めします。

(1)カバーを外します。

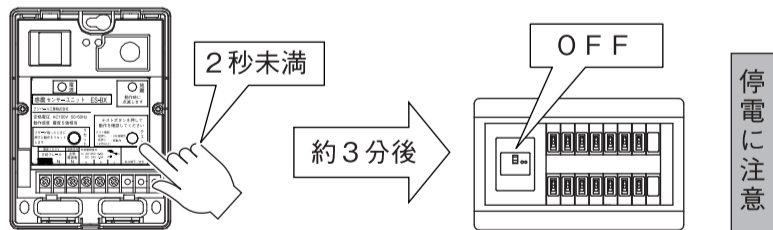
カバーの下側を掴んで引っ張ります。



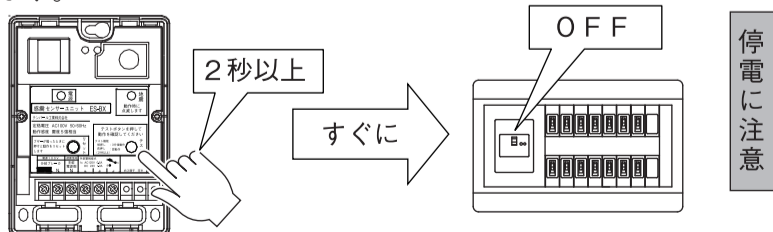
(2) テスト方法

テスト方法は次の2通りあります。(いずれも、感震センサーユニット内部の振動センサをテストするものではありません。)

①テストボタンを短押し(2秒未満)すると、地震波を感知した時の状態になり、約3分後に主幹漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。

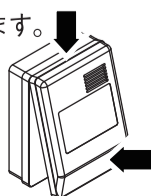


②テストボタンを長押し(2秒以上)すると、主幹漏電ブレーカへの遮断信号をすぐに出力します。ブザーの鳴動や感震動作ランプの点滅を省略し、短時間で主幹漏電ブレーカの遮断動作を確認できます。



(3) カバーを取り付けます。

テスト確認後には、必ずカバーを取り付けてください。



注意

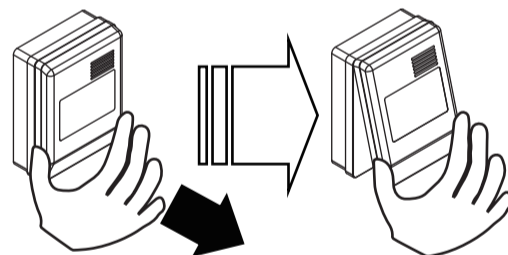
⚠️ **厳守** テスト確認とリセット操作の時以外にはカバーを外さない。(ほこりなどが入ると不動作・誤動作の原因)

リセット機能について

リセットボタンを押すことで感震動作を解除します。ブザーの鳴動が停止、感震動作ランプが消灯し、初期状態に戻ります。

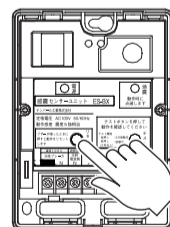
(1)カバーを外します。

カバーの下側を掴んで引っ張ります。



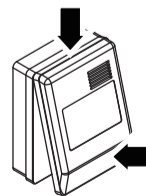
(2)リセットボタンを押します。

ブザーの鳴動が停止、感震動作ランプが消灯し、初期状態に戻ります。



(3) カバーを取り付けます。

リセット操作後には、必ずカバーを取り付けてください。



注意

⚠️ **厳守** テスト確認とリセット操作の時以外にはカバーを外さない。(ほこりなどが入ると不動作・誤動作の原因)